

# エールームの成果と課題、 今後の方向性について

---

学校教育課

1.子どもたちに応じた支援の状況

2.不登校対策の課題

3.サポート教室との違い

4.室内環境（イメージ）

5.エールーム利用者の前年度の  
欠席状況

6.1日の利用者数の推移

7.平均在室時間（コマ数）の推移

8.エールームを利用する生徒の様子

9.保護者の声

10.エールームを利用する生徒の声

11.エールームの成果と課題

12.エールームの今後の方向性

## 1. 子どもたちに応じた支援の状況

### 気になる欠席がある子

- 心理士との面談
- 教育相談室・にじの子相談室での面談

### 教室に入ることが難しい子

- サポート教室や別室で対応
- 学校とほっとプラザとの併用
- 学校からのオンライン授業

### 登校できなくなってきた子

- スクールソーシャルワーカーやココエールによる支援
- 福祉局などとの重層的な支援

その子の状況や様子に合わせて  
支援を幾重にも併用

## 2. 不登校対策の課題

### 学校・家庭・地域における認識の共有

- ・ 「教室復帰」だけが最終目標ではない
- ・ 自信のなさを抱えている子どもが自己肯定感を取り戻すための方策

### サポート教室の限界

- ・ 不登校の子どもが増えても、生活サポート主任を中心に1名で対応
- ・ 十分な広さがない部屋と学習指導中心の限られた活動

### どこともつながれない子どもたち

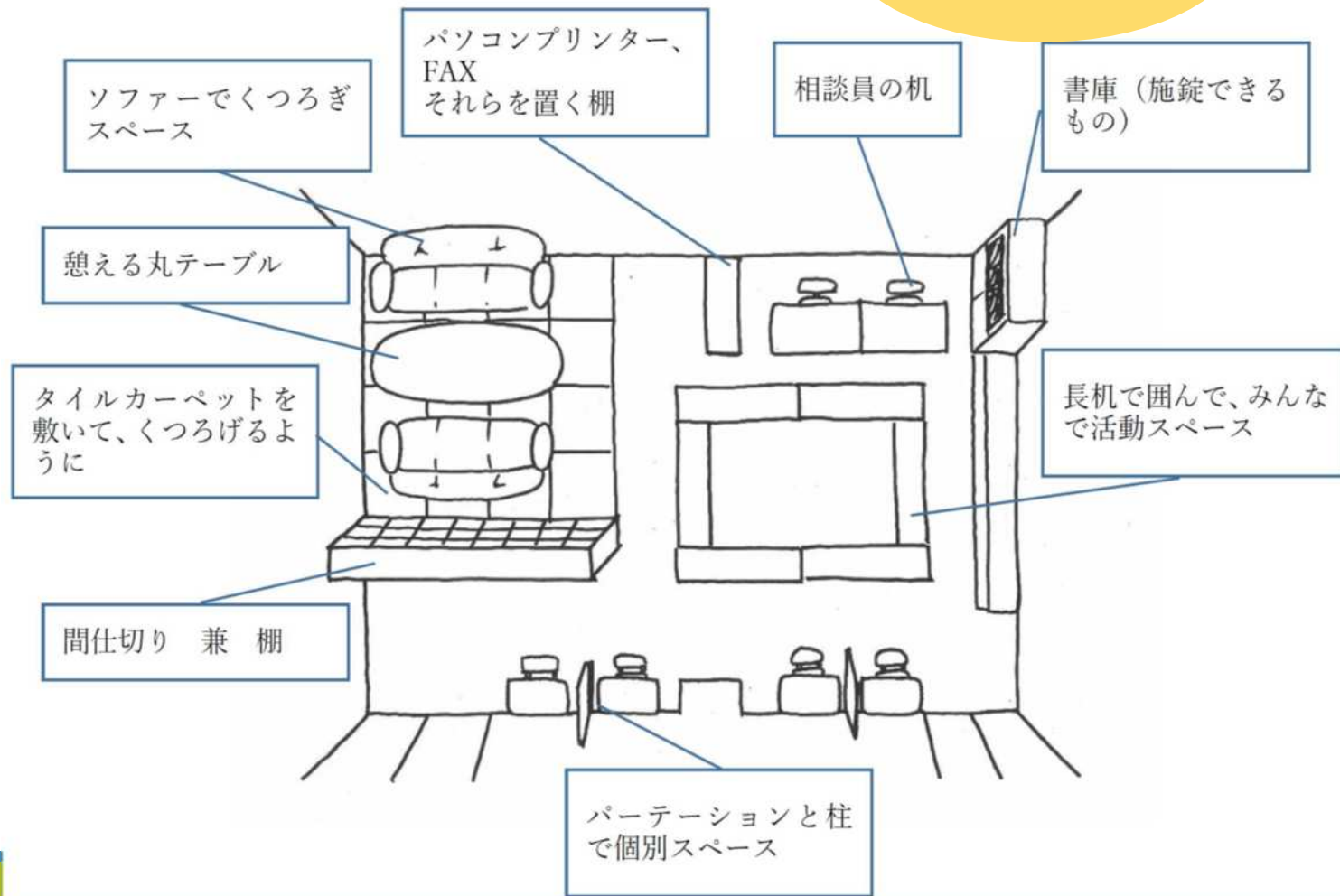
- ・ 家や学校以外の知らないところへ連れられることへの不安
- ・ 家から遠い、車がないなど送迎の難しさ

### 3. サポート教室との違い

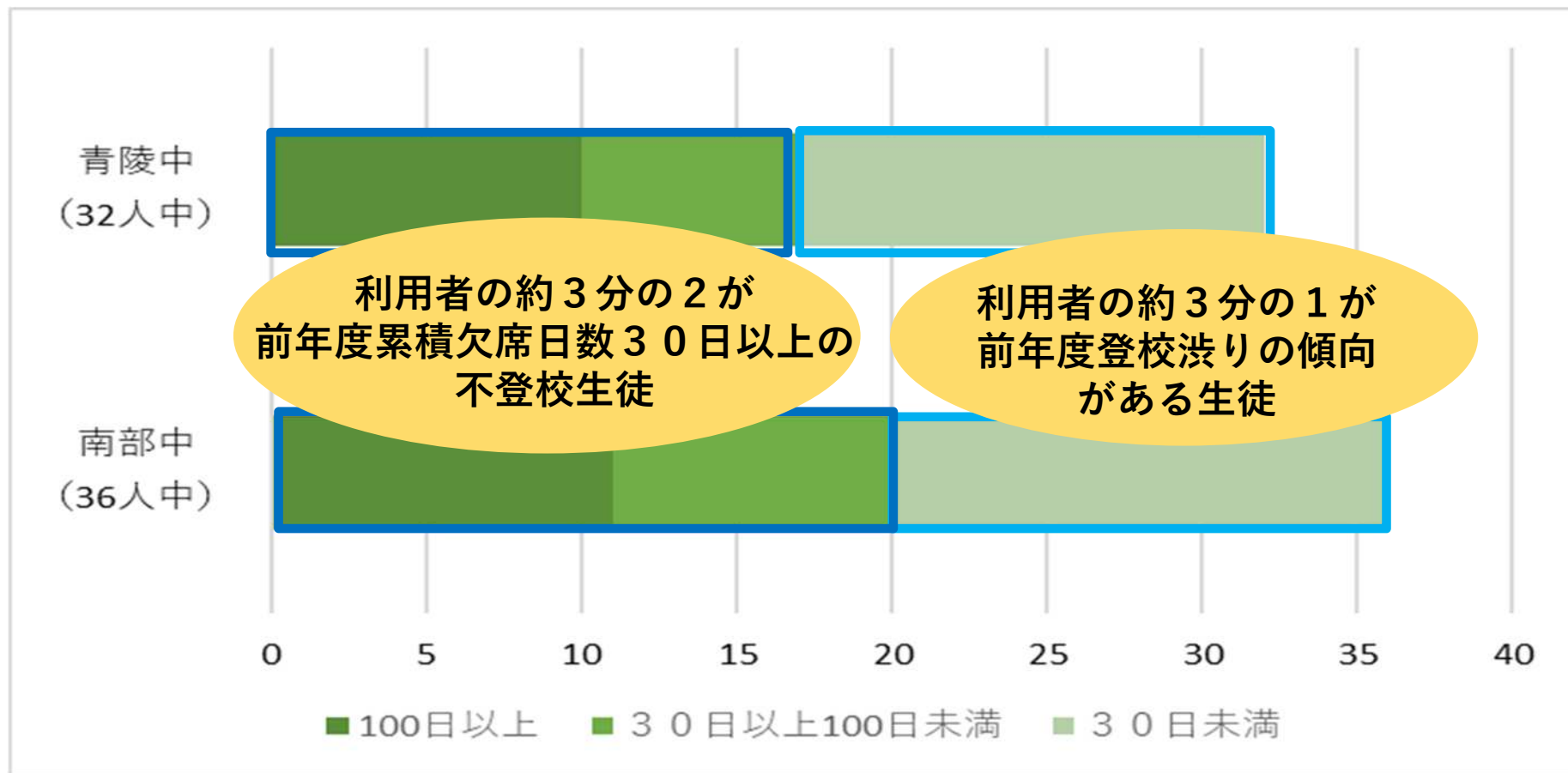
	サポート教室（校内教育支援センター）	エールーム
目的	教室復帰をめざす	<u>社会的自立</u> をめざす
開設場所	市内全中学校の校内（教室の半分のスペース）	中学校内にある <u>教室大の空き教室</u>
指導者	生活サポート主任（在籍校の教員） ※生活サポート主任が授業の時は、 空き時間の教員が交代で入る	生活サポート主任（在籍校の教員） <u>常駐の教育相談員</u> （教員OBなど）
対象の児童生徒	・在籍する生徒	・在籍する生徒 ・ <u>その学区の小学校児童中心に</u> ※ただし、今後体制が整い次第、他の小中学校からの要望があれば、受け入れも可能
活動内容	・教科の学習 ・オンライン授業の視聴	・児童生徒本人の意思や興味関心により、 <u>各自で計画した活動</u> （教室やオンラインでの授業参加を含む） ・教室に入れない子への学習支援

## 4. 室内環境 (イメージ)

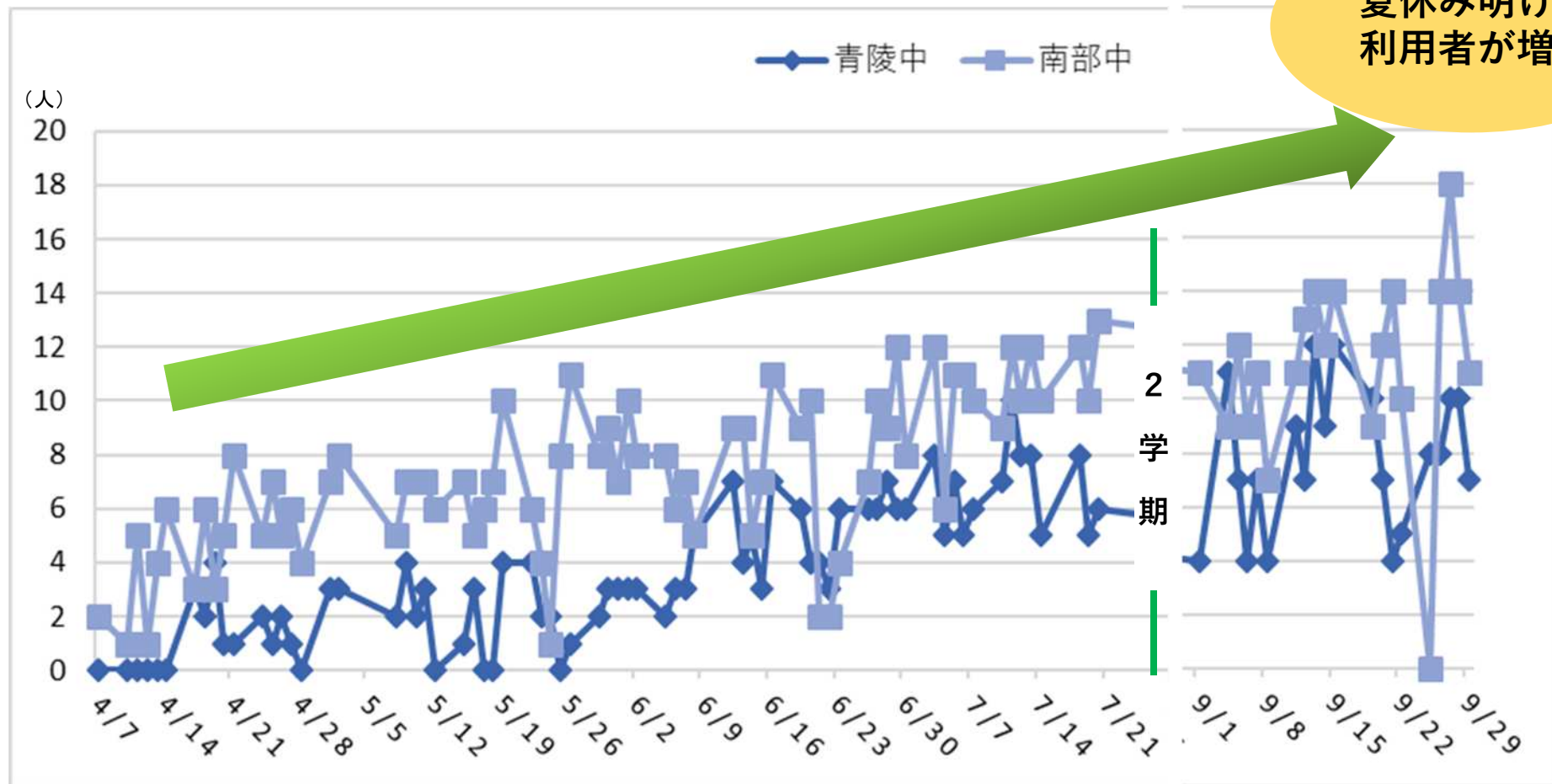
ソファなどで  
居心地よく



## 5. エールーム利用者の前年度の欠席状況（R5年度9月末現在）



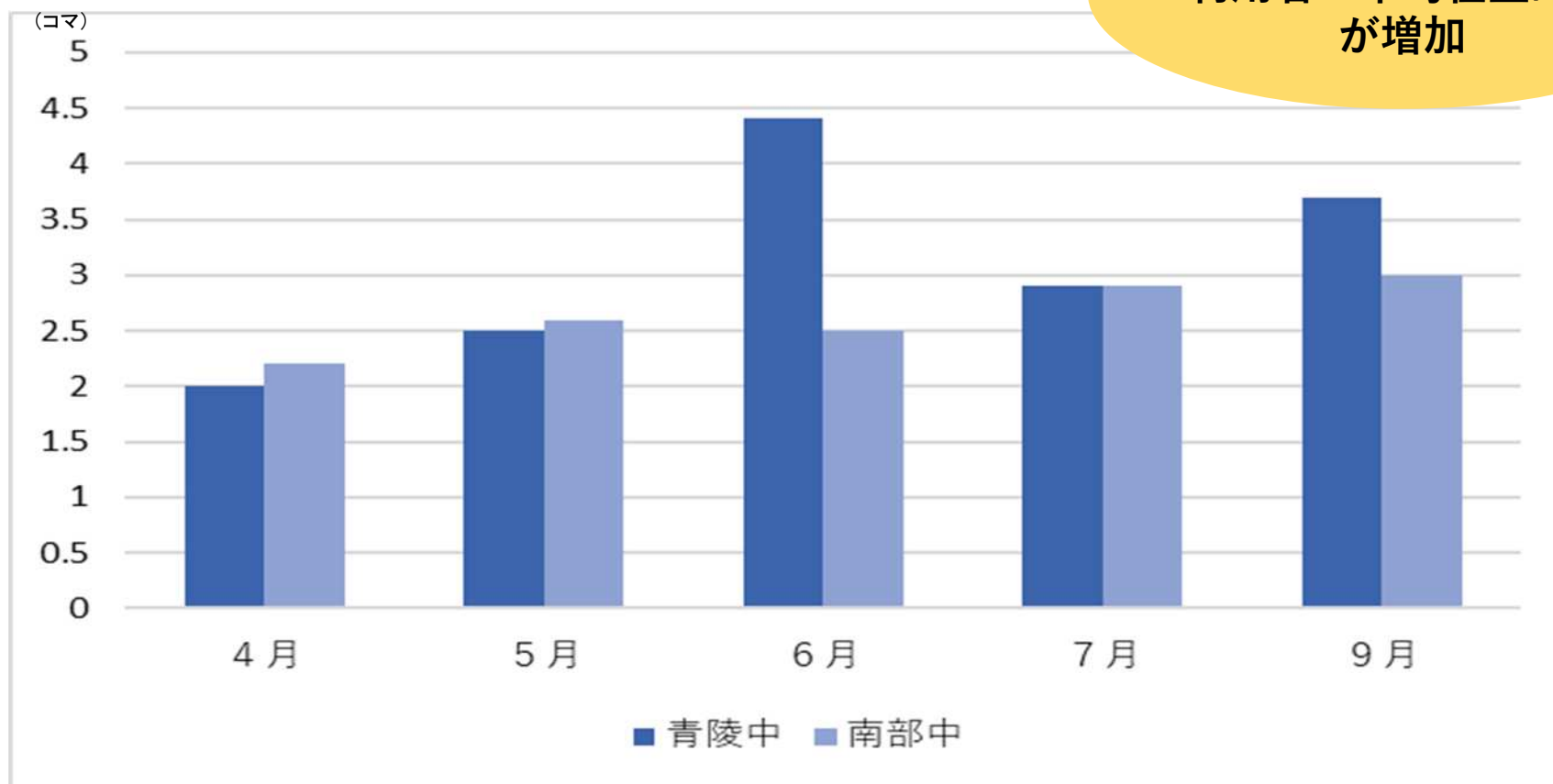
## 6. 1日の利用者数の推移 (4/7~9/29)





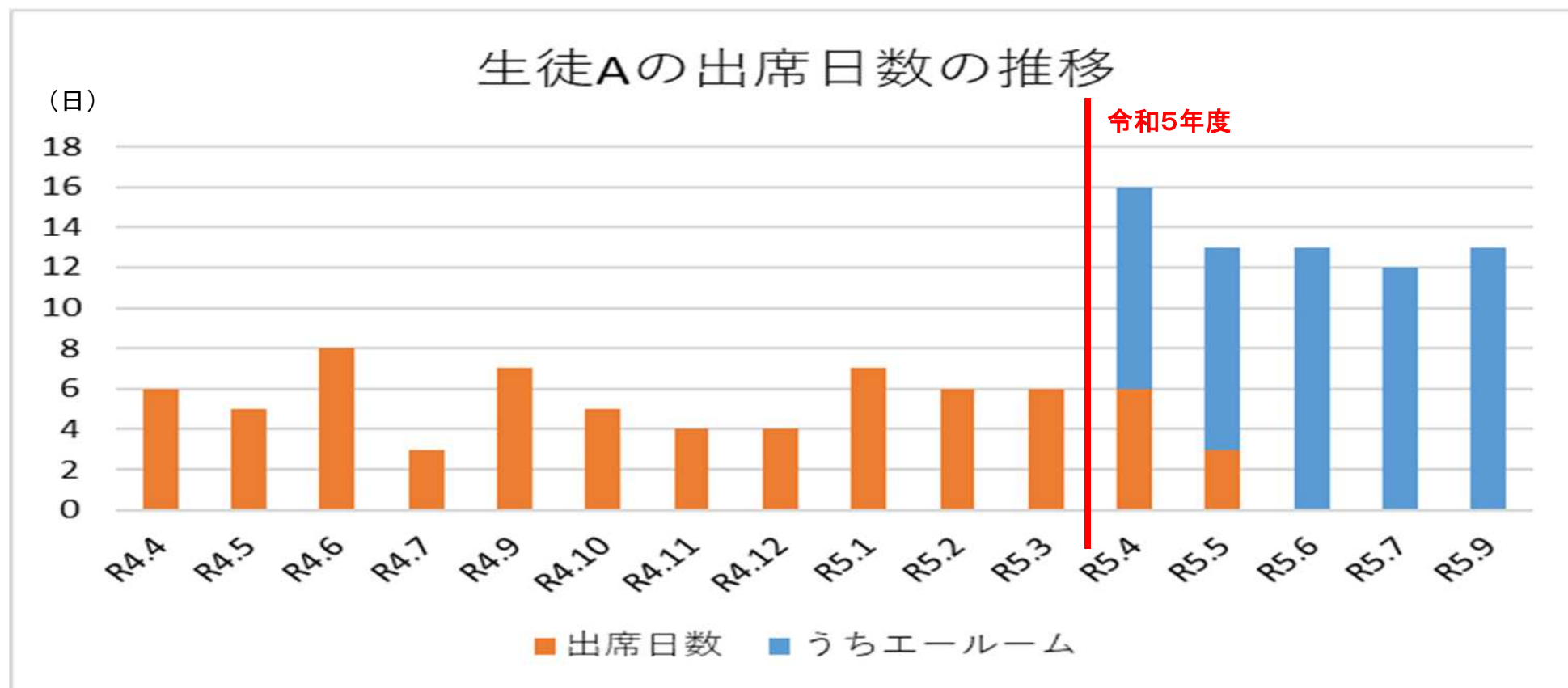
## 7. 平均在室時間（コマ数）の推移

利用者の平均在室時間  
が増加



## 8. エールームを利用する生徒の様子

生徒A R4年度欠席日数：135日 不登校の要因：学業の不振



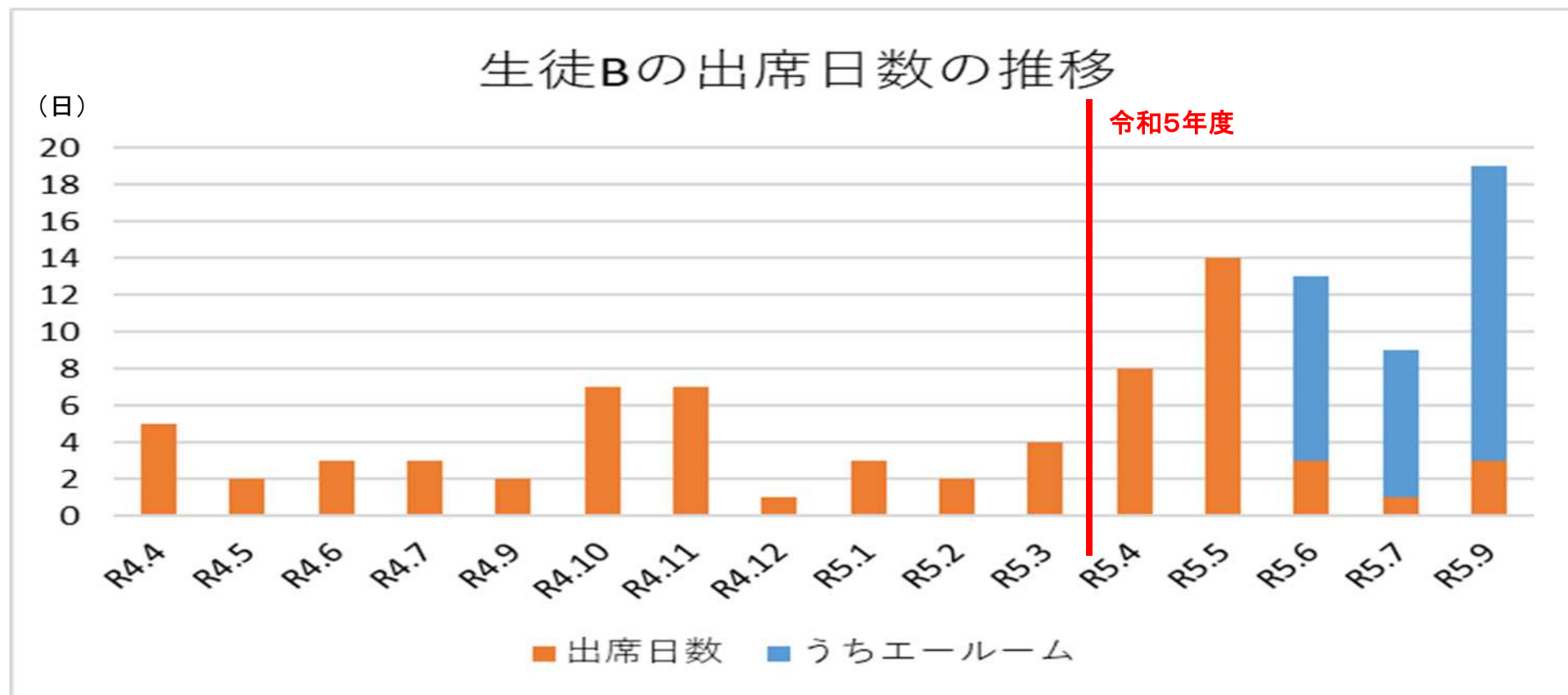
## 8. エールームを利用する生徒の様子

### 生徒Aのある週の過ごし方

	1限	2限	3限	4限	5限	6限
月		自主学習	自主学習	自分の活動	自主学習	学校保健委員会
火		自主学習	自主学習	自主学習	仲間との活動	自主学習
水	欠 席					
木			自主学習	仲間との活動	仲間との活動	自分の活動
金			自主学習	仲間との活動	選手激励会	自分の活動
		…エールームでの活動		…学校行事への参加		

## 8. エールームを利用する生徒の様子

生徒B R4年度欠席日数：154日 不登校の要因：いじめを除く友人関係



## 8. エールームを利用する生徒の様子

### 生徒Bのある週の過ごし方

	1限	2限	3限	4限	5限	6限
月	自分の活動	SCとの面談	自分の活動	自主学習	自分の活動	自主学習
火	自分の活動	体育の授業	自分の活動	社会科の授業	進路説明会	進路説明会
水	自分の活動	自分の活動	体育の授業	自分の活動	自分の活動	社会科の授業
木	欠 席					
金	自分の活動	自主学習	自分の活動	自主学習	自分の活動	自分の活動
		…エールームでの活動		…学校行事への参加		…授業への参加

## 9. 保護者の声



授業に参加できなくても、学校に通えているだけで十分。家でも落ち着いているので安心している。

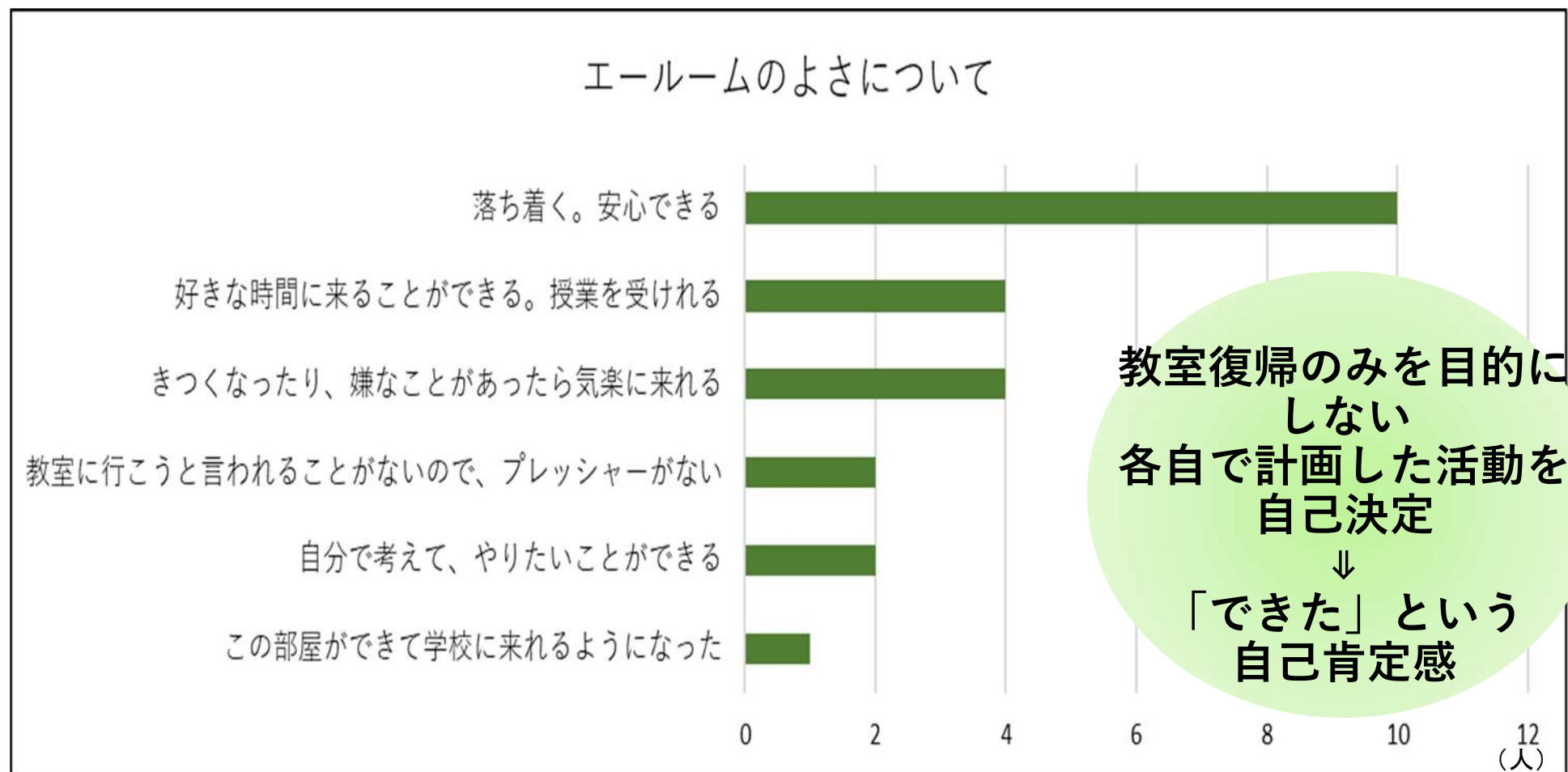


今年からこのような部屋ができて本当にありがたい。

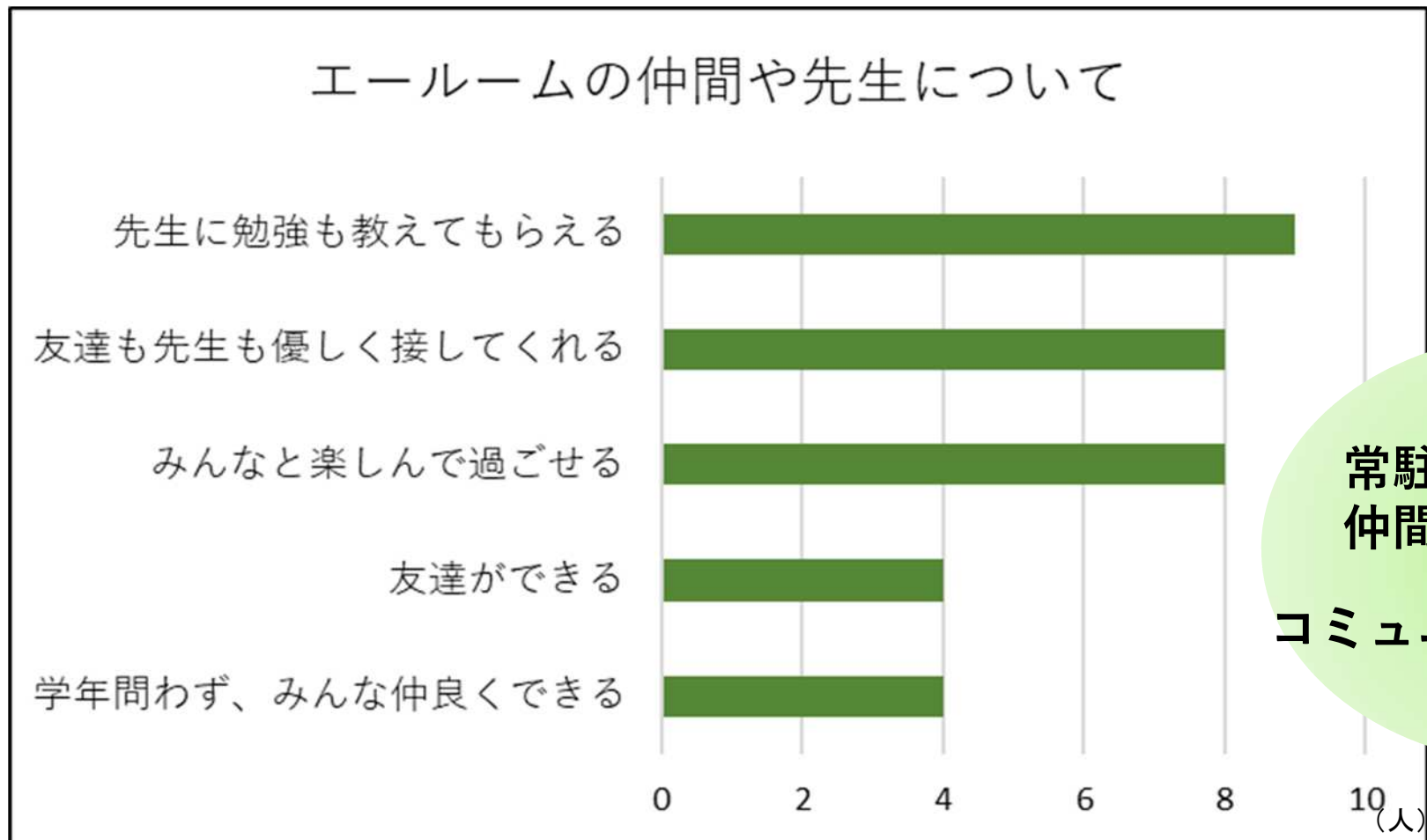


「甘え」や「わがまま」ではないと、先生方がわかってくれる。

## 10. エールームを利用する生徒の声 (26人からの自由記述をもとに作成)



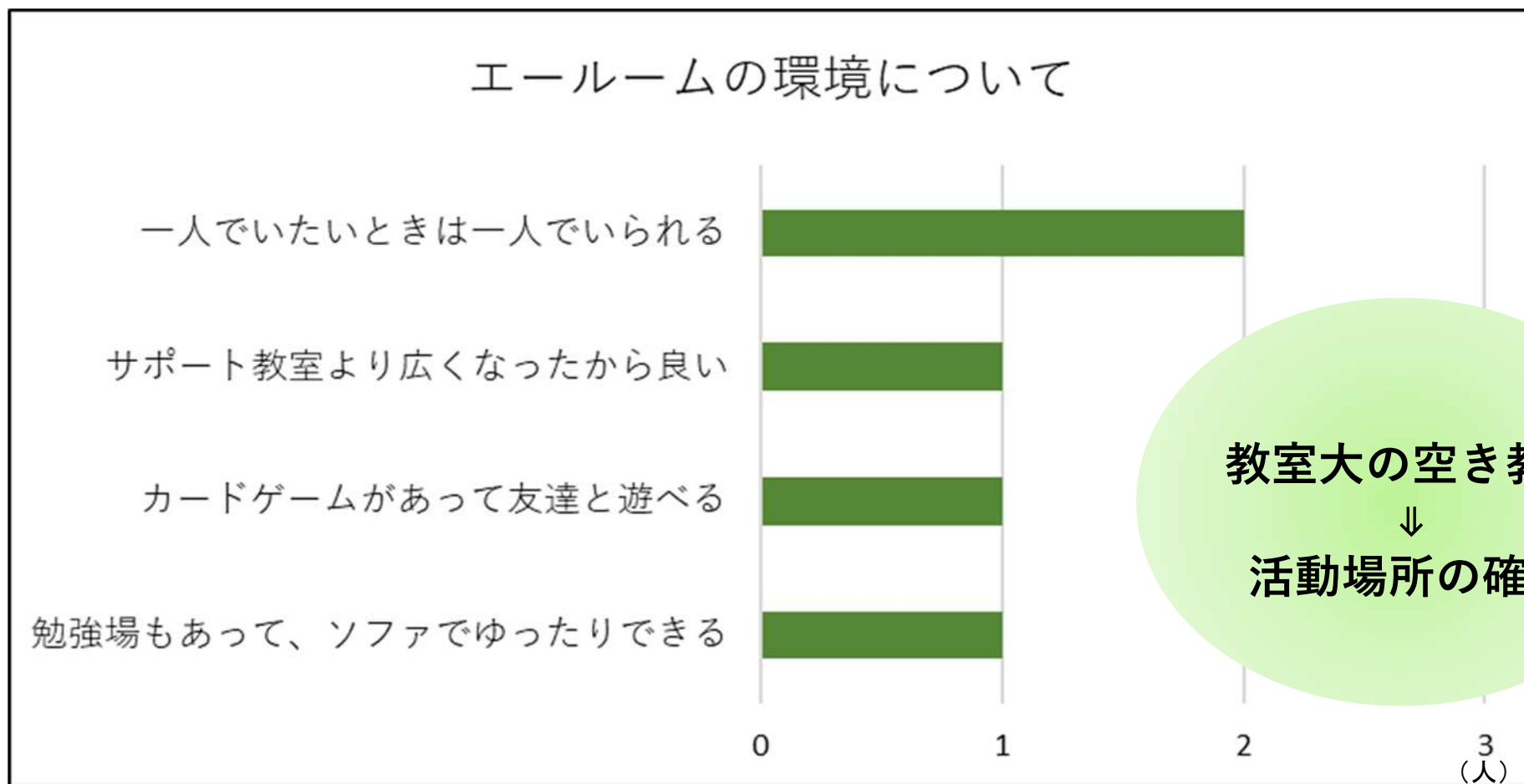
## 10. エールームを利用する生徒の声 (26人からの自由記述をもとに作成)



常駐の教育相談員  
仲間とのかかわり  
↓  
コミュニケーションの場



## 10. エールームを利用する生徒の声 (26人からの自由記述をもとに作成)



## 11. エールームの成果と課題

成果①前年度不登校であった生徒が、登校できるようになった。

成果②前年度登校を渋る傾向にあった生徒が、継続して登校できている。⇒1年生がスムーズに中学校生活をスタートできた。

成果③学校に行きづらさを感じている生徒にとって、居場所の選択肢が増えた。⇒ほっとプラザを選択した生徒もいる。

課題 子どもたちへの対応をする人員の不足。  
⇒現在の受け入れ態勢を継続していくなれば、増員が必要。

## 12. エールームの今後の方向性

### 最終目標

⇒ 全中学校への設置をめざす

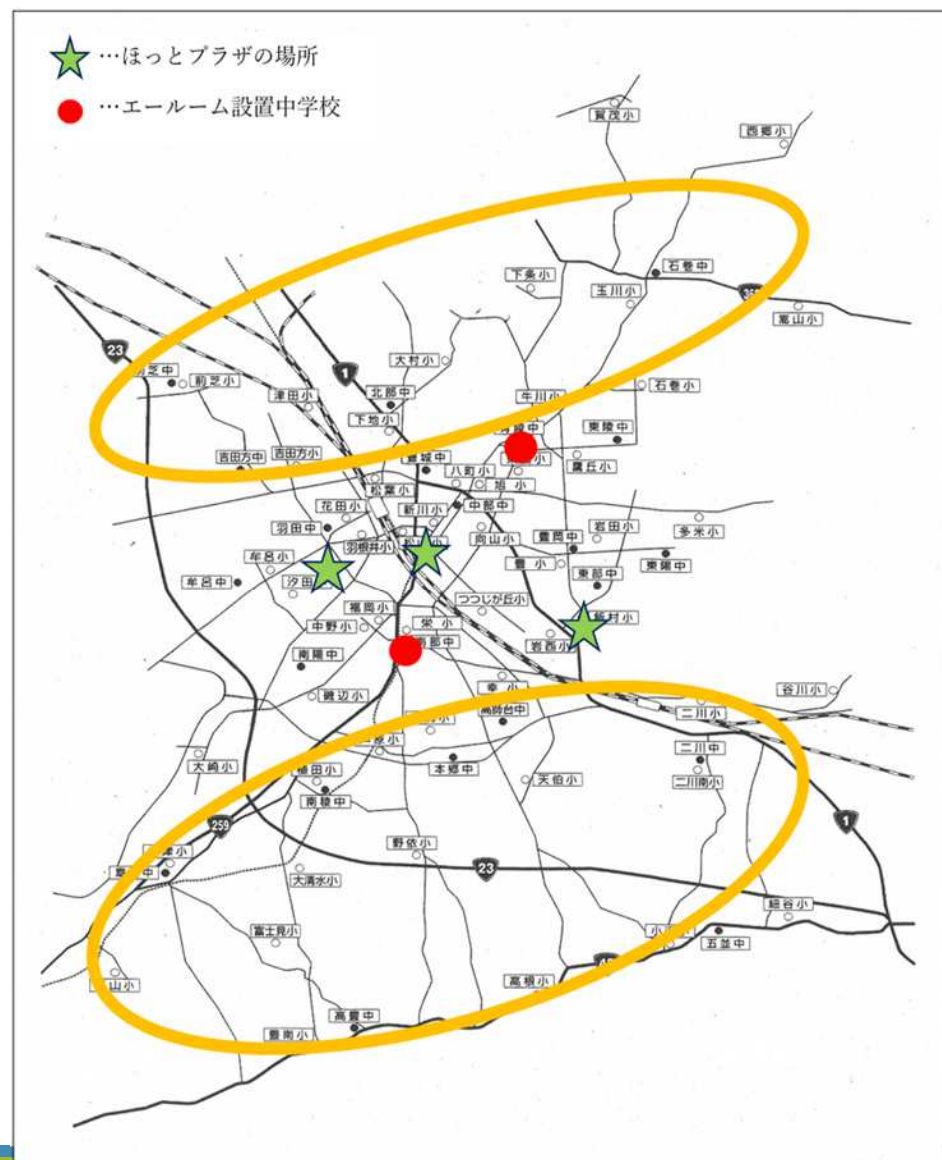
### 今後 新設を検討する中学校

⇒ 不登校生徒数が多い中学校

または、

⇒ ほっとプラザへ通いづらさがある  
中学校

※ 豊橋市の北部地区      南部地区



## 12. エールームの今後の方向性

### 受け入れ体制の充実

各エールームにおいて

生活サポート主任

教育相談員（常駐） 1名

**新たに ふれあいフレンド（有償ボランティア）の配置**

